

第 1 章

G7宮崎農業大臣会合の概要

G7 Agriculture Ministers' Meeting
in Miyazaki

第1章 G7宮崎農業大臣会合の概要

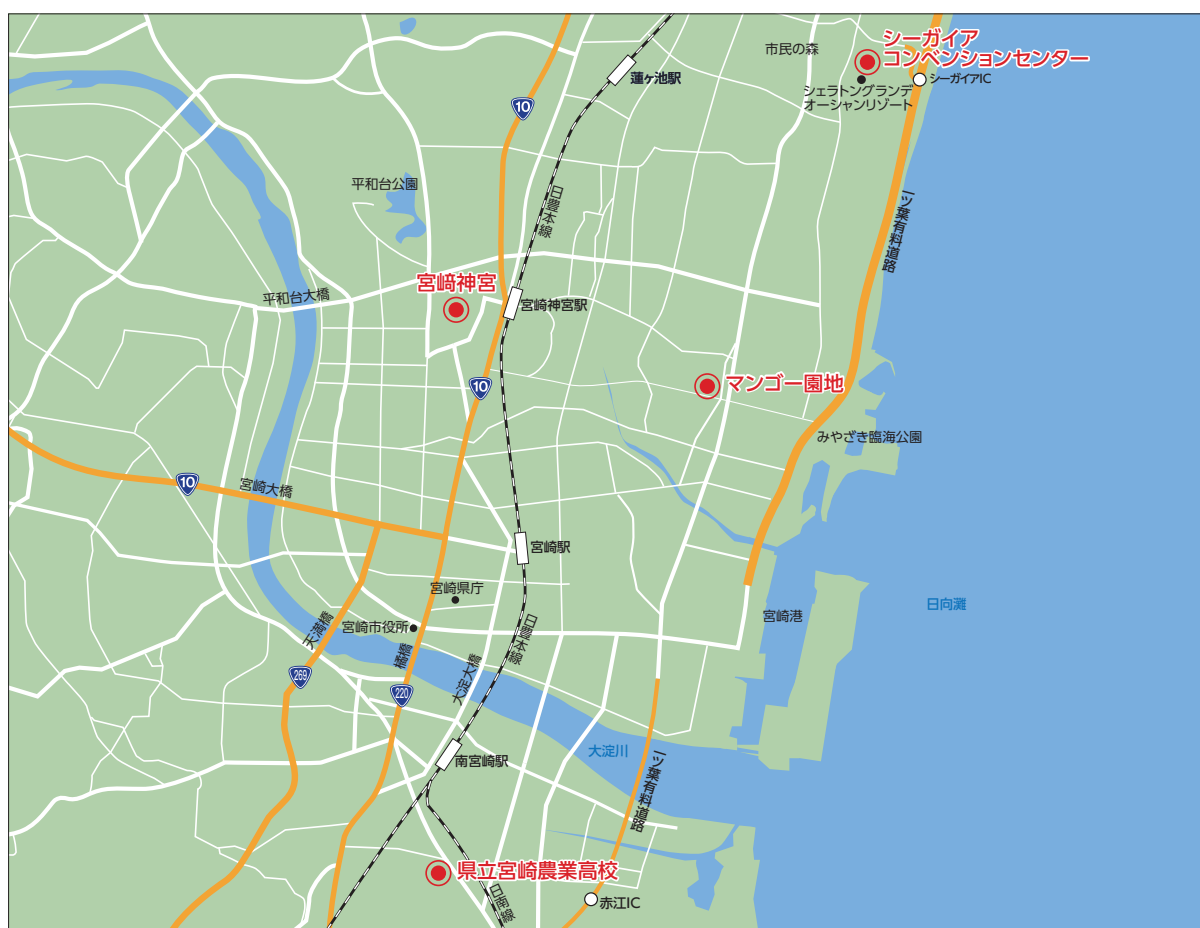
1 開催日・会場

- 開催日 令和5年4月22日(土)～23日(日) ※21日(金)に歓迎イベント等を実施
- 会場 コンベンションセンター

■関係施設位置図



■現地視察訪問先位置図



2 全体日程

	4月21日(金)	4月22日(土)	4月23日(日)
午前	10:30~11:50 セミナー①	10:00~10:35 本会合① 10:35~11:05 HOD展示ツアー	09:00~10:10 本会合⑤ 10:15~11:00 共同記者会見
昼		11:20~12:20 本会合②	11:35~16:00 現地視察
午後	13:30~15:00 セミナー②	12:30~13:50 ワーキングランチ	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎神宮 ・神宮会館(ランチ) ・マンゴー園地 ・県立宮崎農業高校
	16:00~17:20 セミナー③	14:30~15:40 本会合③ 16:00~17:20 本会合④	
夜	18:35~19:10 ティーセレモニー	17:25~17:40 フォトセッション	
	19:15~20:45 歓迎レセプション	19:00~20:30 大臣主催夕食会	

第1章 G7宮崎農業大臣会合の概要

3 参加国・国際機関の代表者

参加国・国際機関	代 表 者	
日本	野村 哲郎	農林水産大臣
フランス	マルク・フェノー	農業・食料主権大臣
米国	トーマス・J・ビルサック	農務長官
英国	トゥルーディ・ハリソン	自然環境及び土地活用担当大臣
ドイツ	ジェム・エズデミル	食料・農業大臣
イタリア	フランチェスコ・ロツロブリージダ	農業・食料主権・森林大臣
カナダ	マリー・クロード・ビボー	農業・農産食料大臣
EU (欧州連合)	ヤヌシュ・ヴォイチェホフスキ	欧州委員会委員(農業担当)
FAO (国連食糧農業機関)	チュー・ドンユイ	事務局長
IFAD (国際農業開発基金)	アルバロ・ラリオ	総裁
OECD (経済協力開発機構)	ウルリック・クヌッセン	事務次長
WFP (国連世界食糧計画)	シンディ・ヘンスリー・マケイン	事務局長
ウクライナ	ミコラ・ソルスキー ※本会合プログラム4にオンラインで参加	農業政策・食料大臣

※ FAO 以降は招待国、招待国際機関として参加

4 議論の成果

(1) G7 農業大臣声明 (P.156)

本会合での議論を取りまとめた声明が採択されました。

- ① 現在及び将来世代のニーズに応じた強じんを持続可能な農業及び食料システム
既存の国内農業資源を持続可能な方法で活用し、地元、地域の、そして世界の食料システムを強化する方法で模索すべき
- ② 持続可能な生産性向上のための実践的な措置
農業・食料システムの持続可能性の向上は生産性を高める方法で行われるべき
- ③ 強じんを持続可能な食料システムのためのイノベーションと投資の重要性と民間セクターや関係者を取り込む必要性
農業・食料システムの全ての段階における、あらゆるイノベーションの実施と利用が必要

(2) 宮崎アクション (P.164)

G7 農業大臣声明を受けて、各国が取り組む行動指針として、12項目が取りまとめられました。



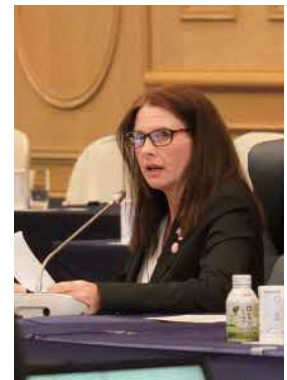
議長を務めた野村大臣



フェノー大臣(仏)



ビルサック長官(米)



ハリソン大臣(英)



エズデミル大臣(独)



ロツロブリーダ大臣(伊)



ビボー大臣(加)



ヴォイチェホフスキ委員(EU)

